

半導体

- ・ **ルネサスエレクトロニクス**：グジャラート州でCGパワー社の半導体後工程工場に投資。先端コンピューティング開発センター（C-DAC）やIITHと連携。
- ・ **東京エレクトロン**：タタ・エレクトロニクスと戦略的パートナーシップ作成。ドレラ工業団地で事務所の開設を予定。
- ・ **富士フイルム・インド**：グジャラート州ドレラ工業団地での半導体材料製造に向けた投資意向を表明し、同州政府との間で了解覚書（MoU）を作成。
- ・ **みずほ銀行**：経産省の委託を受け、日印半導体産業育成のための「マスタープラン」を作成。グジャラート州政府と同州への進出を目指す日本の半導体関連企業を支援するための協力覚書（MoC）に署名。
- ・ **ローム**：タタ・エレクトロニクス及びスチ・セミコンとそれぞれパワー半導体製造に関する了解覚書（MoU）に署名。
- ・ **ミネバアミツミ**：インドでの半導体及び関連部品のサプライチェーン構築に向けたFS調査を実施。タミル・ナドゥ州政府とパワー半導体等に関連する投資実現に向けた協力のための了解覚書（MoU）に署名。
- ・ **NIPPON EXPRESSホールディングス**：グジャラート州とアッサム州での半導体輸送に関する実現可能性調査を実施。

情報通信技術

- ・ **楽天シンフォニー**：テジャス・ネットワークスとオープンRANネットワーク・ソリューション開発等に関するパートナーシップ作成。
- ・ **1FINITY**：印現地法人を設立し、オール光ネットワーク分野の協力を推進する計画。
- ・ **Aeterlink**：Softdel Systemsと、ワイヤレス電力伝送技術を活用したPhysical AI実装に関するパートナーシップ作成。
- ・ **NTT**：ムンバイ・チェンナイ・シンガポールを結ぶMIST国際海底ケーブルの印でのオペレーションに関与。また、JICT及びJBICによる投融資を通じて、データセンター事業を継続的に拡大することを計画。
- ・ **Preferred Networks**：Sarvam AI社との生成AIの開発等に関する了解覚書（MoU）に署名。
- ・ **NEC**：カナラ国有銀行、インド年金基金規制開発局、Jumbotail とAI分野で協力。インド政府とJBICが設立したインド産業回廊開発公社を通じて共通物流情報基盤を運営。リライアンス・ジオと戦略的パートナーシップ作成。エンドツーエンドのオープンRANシステム開発を推進。
- ・ **Yaquumo**：インド理科大学院は、量子技術分野における戦略的パートナーシップを推進するため、意向表明書（LoI）に署名。量子ハードウェア、フォトンクス・光制御技術等における共同研究開発及び商業化の協力を促進。
- ・ **ZERO-SUM**：V2Xシステムに関するテクニカルワークショップを開催し、両国におけるV2X技術に関する制度、技術動向及び活用事例に関する知見を共有し、V2X技術及び高度道路交通システム（ITS）分野での連携・協力を深化。

- **IHI**：日印クリーンエネルギー協力の旗艦プロジェクトとして、ACMEとオデーシャ州での40万トン規模のグリーンアンモニア生産プロジェクト推進。
- **カナデビア**：Infistar EnergyとUP州でのグリーン水素製造に関する了解覚書（MoU）に署名（**山梨県**とウッタル・プラデーシュ(UP)州がグリーン水素分野での協力パートナーシップ作成）。
- **伊藤忠商事**：L&Tエナジー・グリーンテックとグリーンアンモニア供給計画に関する長期パートナーシップ契約署名。
- **JBIC**：**POWERR Asiaの下**、エネルギー多様化と再生可能エネルギー供給システム強化のため、PGCILと800億円の融資契約を作成。
- **出光興産**：UPL社と合成燃料・バイオ燃料の共同検討に関するパートナーシップ作成。
- **三井物産、中部電力、本田技研工業、関西電力送配電**：1GW規模の再生可能エネルギーポートフォリオを作るOMCパワーに投資。
- **エア・ウォーター**：ジャールカンド州でタタ・スチールが建設中の大規模産業用ガスプラントを取得。ハリヤナ企業振興センターと協力枠組み構築に関するパートナーシップ作成。
- **NEXI**：リライアンス・インダストリーズと、太陽光・電池エネルギー貯蔵関係の強靱なサプライチェーン構築に向けて連携。
- **日印ファンド**：JBICと印政府が立上げ。EKAモビリティへ投資。
- **住友商事**：AMPINエナジートランジションとグリーン電力供給基盤の構築に向けて協力。
- **三井物産**：ReNew Powerと1300MW規模の風力・太陽光発電所に関し協力。
- **JBIC**：印PFCと、アッサム州での竹由来バイオエタノール製造プロジェクトへの600億円の融資契約を署名。

- **エーザイ**：アンドラ・プラデーシュ州ビザーグ工場で年間で原薬80トン、錠剤20億錠を製造。
- **大塚製薬**：グジャラート州で、輸液、経静脈注射液、非経口栄養製品、抗感染症薬等を製造、インド各州で販売。
- **武田薬品工業**：ザイダスとの合併事業を通じ原薬・中間体を製造。バイオロジカルEとワクチン製造で協力。
- **Meiji Seikaファルマ**：メドライクを完全子会社化し、ジェネリック医薬品を製造・販売。
- **Sysmex**：グジャラートでの診断薬・機器の製造拠点設立のために投資。

総論	・ 日印経済安全保障対話：「インド太平洋地域におけるエンゲージメントと経済的強靱性のための政策努力」、「半導体及び重要鉱物の強靱なサプライチェーン」、「産業協力と政策協調：クリーンエネルギー、製造、サプライチェーン促進」、「重要新興技術における日印協力：優先分野と将来の方向性」について議論。 ・ 第7回日印産業競争力パートナーシップ次官級会合（経済産業省・インド商工省）：「日印デジタル・パートナーシップ2.0に関する協力覚書（MoC）」、「クリーン水素・クリーンアンモニアに関する共同意向表明」といった枠組みに基づく協力について議論。 ・ 在京インド大使館：重要技術に関する日本・インドイノベーション対話を開催。
半導体	・ 日印商工会議所半導体委員会：日印の半導体関連企業間の情報交換、ネットワーキング、及びインドの中央政府・州政府との協議を促進。 ・ 経済産業省・インド電子情報技術省：両国の関係企業、教育機関、政府機関の参加の下、「日印半導体サプライチェーン・パートナーシップに関する協力覚書（MoC）」に基づく「半導体政策対話」を開催。 ・ JICA：岩手県など地方自治体と連携し、インド政府関係者及び大学教員を日本の半導体人材育成拠点に招へいし、インドにおける半導体製造人材の育成を支援。さらに、日印両政府の協力に基づき、日本での研修プログラムの実施に向けて取組み中。
重要鉱物	・ 経済産業省：鉱物資源に関する協力覚書（MoC）に基づき印鉱山省と第1回合同作業部会を開催。 ・ JOGMEC：インド地質調査所と鉱物資源の探査と技術に関する情報交換促進のための協力覚書（MoC）を作成。 ・ 在インド大使館・環境省：「インドにおける重要鉱物サプライチェーン/e-wasteリサイクルに関するセミナー」を共催。政府関係者、大学関係者、専門家、企業関係者の参加を得て、リサイクルを通じた重要鉱物サプライチェーン強化をテーマとするラウンドテーブル及びマッチングイベントを開催。 ・ 日米豪印重要鉱物イニシアティブ：枠組みの下で、日本とインドは、投資とプロジェクト開発、規制の整合化と全般的な環境整備、重要鉱物のリサイクル・回収などの分野で協力を推進。

情報通信技術	・ 経済産業省・インド電子情報技術省：GENIACとインドのAI Missionの協力促進に関する協力覚書（MoC）に署名。 ・ 内閣府・インド科学技術庁（DST）：量子科学技術に関する協力趣意書（LoI）に署名。また、量子分野における日印協力の現状と今後の展望について意見交換を実施。 ・ 外務省・インド外務省：日印AI協力イニシアティブの下で具体的協力を進めるため、第1回日印AI戦略対話を開催。両国の関連企業間のマッチメイキングを促進するためのネットワーキングを実施。 ・ JICA：インド電子情報技術省のAIKoshやテランガナ州のTGDeX等のAIデータ連携基盤の設計、開発、利用促進を支援。インド工科大学ハイデラバード校におけるAI研究センターの設置及びAI研究設備の導入を支援。円借款でAIとデータを活用した実証を実施（森林管理、人とゾウの軋轢緩和、公共交通課題の解決等）。 ・ 総務省：インド通信省と日印ICT協力枠組みの下で第8回ICT政策対話を開催。インド太平洋地域において、海底ケーブル、データセンター、オープンRAN、オール光ネットワークなど、デジタルインフラの整備を促進することでF0IPデジタル回廊構想の実現に向けたインドとの協力を一層強化。
クリーンエネルギー	・ 日印政府：二国間クレジット制度（JCM）構築のための協力覚書（MoC）に署名。パリ協定第6条に整合するJCM実施のためのルールを採択。 ・ JETRO・日本政府：70以上の企業・政府機関の参加を得て、蓄電池及び重要鉱物サプライチェーンに関するビジネス・マッチメイキング及びラウンドテーブルを開催。 ・ 経済産業省：インド重工業省との間で、既存の財政支援の効果的活用の促進、知的財産の保護、機密情報の管理など、蓄電池サプライチェーン強化のための措置に協力し、事業機会を拡大するための協力覚書（MoC）に署名。JETRO及びインド太陽エネルギー連盟とともに、太陽電池サプライチェーンの強靱化のためのマッチングイベントを開催。インド新・再生可能エネルギー省との間で、第1回水素・アンモニア・タスクフォース会合を開催。インド協同組合省との間で、国内で生産可能なバイオ燃料などのエネルギー源を活用し、バイオ燃料生産の副産物として得られる有機肥料の利用拡大を通じて、農村開発を促進するための協力覚書（MoC）に署名。 ・ JICA：全国酪農開発機構と連携し、牛糞由来のバイオガスの利用拡大を目指し、プラント導入や残渣からの有機肥料の製造に関する基礎情報調査を開始予定。また、国産太陽光発電パネルの製造能力強化及び新規設備導入の促進を通じた、インドの再生可能エネルギー供給体制強化のための支援を検討。
医薬品	・ 内閣官房健康・医療戦略室、インド保健・家庭福祉省：「第3回 日・インド ヘルスケア合同委員会」を開催し、医薬品を含むヘルスケア分野におけるサプライチェーン強靱化などについて議論。 ・ 厚生労働省：インド化学肥料省の医薬品局に対し、日本での供給確保が必要と指定された医薬品及びワクチンのリストを提供。 ・ 日本医療研究開発機構（AMED）、インド科学技術庁（DST）、インド医学研究評議会（ICMR）：科学技術・医療分野に関する研究協力に関する協力覚書（MoC）に署名。